

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	010	丹沢まつり補助金	事業3	001	丹沢まつり補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市の重要な観光資源である表丹沢の魅力を広く宣伝する「秦野丹沢まつり」の運営費の一部を補助する。
- ・目 的 市内外からの誘客を図り、西地域と連携した観光振興に努め、地域の発展に寄与する。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市の観光宣伝、誘客、地域経済の振興に大きく貢献している。
- ・目 標 値 来場者数5万人以上

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 5,500千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 5,500千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 6,200千円 (市制施行70周年)
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 7,000千円 (第70回記念)

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 4年振りの通常開催。安全祈願式、山開き式、慰霊祭、集中登山、山開きパレード等を実施。
- ・令和6年度 安全祈願式、山開き式、慰霊祭、集中登山、山開きパレード等を実施。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

祭り運営にあたり、人件費や原材料費等の高騰に伴い、事業費が増額傾向にある。各事業において、費用対効果等を分析した上で、事業を展開し、誘客を図る必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市制施行70周年を記念して、魅力ある事業の展開に取り組むとともに、表丹沢の魅力発信及び祭りを支える西地域の商店会をはじめとした団体と連携を図り、地域一体となった祭りを運営する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	010	丹沢まつり補助金	事業3	001	丹沢まつり補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

市制施行70周年記念事業として「はだのふるさと大使」の初登場、米倉丹後守子供大名行列の記念復活等に取り組むため増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度（第66回） 564千円
 令和5年度（第67回） 5,500千円
 令和6年度（第68回） 5,500千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

「山開き式」を「里」（商店会及び協賛行事）が支える相互関係と祭りの伝統ある行事を大切にした上で、時代に沿った事業展開を図る。「秦野丹沢まつりが首都圏の山開きであるという認識の拡大及び定着」を目指し、今後の誘客に繋がるよう取り組む。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 700千円（0千円）
- ・ 内 容 はだのふるさと大使の初登場、米倉丹後守子供大名行列の記念復活

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・ 該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	020	たばこ祭補助金	事業3	001	たばこ祭補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市発展の礎を築いた葉たばこ耕作者の情熱を引き継ぐ、本市最大の観光イベントである祭りの運営費の一部を補助する。
- ・目 的 市内外からの誘客を図り、観光振興及び地域経済の活性化を図る。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市最大の観光イベントとして、観光宣伝、誘客及び地域経済の振興に大きく貢献している。
- ・目 標 値 来場者数36.5万人以上

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 27,000千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 27,000千円
- ・令和7年度以降 事業費（進捗率）： 27,300千円（市制施行70周年）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 27,000千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 4年ぶりの通常開催として実施し、祭りの伝統を大切にしたい行事を展開するとともに、新しい「秦野らしさ」を演出するため、はだのふるさと大使による各種行事への参加、ジャンボ火起こし綱引きコンテストの参加チームの市外拡大、名水ジビエパークでのジビエ料理の提供など、魅力溢れる行事に取り組んだ。
- ・令和6年度 「火」をテーマとしたストーリー性のある行事を軸に展開し、伝統を継承した上で、はだのふるさと大使による新たな演出で祭りを盛り上げるとともに、安全対策の強化を図り、誰もが安心して楽しめる祭りとなるよう取り組んだ。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

警備やステージ運営に係る人件費、打上花火等の原材料費である固定費が高騰傾向にあることから、行事の見直しやスリム化を図る必要がある。また、さらに多くの来場者を迎えるにあたって、会場のキャパシティに対応した警備体制

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	020	たばこ祭補助金	事業3	001	たばこ祭補助金

について検討する必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

祭りの開催当初から実施している行事や葉たばこ耕作に携わった先人の情熱を「火」にたとえ、ジャンボ火起こし綱引きコンテストの採火に始まり、弘法の火祭の「松明点火」、打上花火でフィナーレを迎えるというストーリー性や伝統を重視した行事を展開する。
また、市制70周年記念事業を実施し、「ふるさと秦野」への誇りと愛着の醸成を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

市制施行70周年記念事業を実施するため増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度（第75回）26,500千円
令和5年度（第76回）27,000千円
令和6年度（第77回）27,000千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

人件費や物価が高騰していることから、行事の見直しやスリム化を図るとともに、クラウドファンディングを実施するなど、自主財源の確保に努める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 300千円（0千円）
- ・ 内 容 打上花火の充実等

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・ 該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	030	桜による誘客促進事業費	事業3	001	桜による誘客促進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市が誇る観光資源「桜咲く秦野盆地」の魅力発信のため、はだの桜まつりに合わせ、カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園において、ライトアップを実施し、誘客を図る。
また、桜まつりパンフレットを作成し、観光客の周遊に繋げる。
- ・目 的 桜の名所を活用し、観光客の誘客を図るとともに、周遊性を高める。
- ・SDGs 働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効 果 桜の名所を活用し、本市の知名度の向上や地域経済活性化を図るため、観光客を誘致する。
- ・目 標 値 はだの桜まつり来場者数25,000人
※ 令和5年度実績：22,100人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 5,717千円 (繰越明許分含む)
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 5,408千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,771千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 5,771千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 はだの桜まつり (カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園のライトアップ事業等)、弘法山公園駐車場周辺警備
- ・令和6年度 はだの桜まつり (カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園のライトアップ事業等)、弘法山公園駐車場周辺警備、桜の戸籍調査

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

「桜咲く秦野盆地」の魅力発信に努め、積極的な誘客を図るとともに、観光客の周遊に繋げ、地域経済活性化を図る必要がある。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	030	桜による誘客促進事業費	事業3	001	桜による誘客促進事業費

- ・「桜咲く秦野盆地」の魅力発信のため、関連部署と連携して取り組む。
- ・はだの桜まつりをイベントとして実施するとともに、カルチャーパーク前河川敷及び弘法山公園においてライトアップを実施し、誘客を図る。
- ・桜まつりパンフレットを作成し、積極的な誘客を図るとともに、観光客の周遊に繋げる。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

桜のライトアップに係る委託料について、人件費や電気配線に係る原材料（銅線等）が高騰しているため、増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

桜のライトアップに係る委託料金推移

- ・令和6年度予算額：3,905千円
- ・令和5年度決算額：3,905千円
- ・令和4年度決算額：3,905千円 投光器数量の増加、ライトアップ場所の追加による増額
- ・令和3年度決算額：2,640千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

桜の名所のライトアップ等を実施するとともに、桜まつりパンフレットを作成することで、誘客を図り、地域経済の活性化につなげる。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	040	観光施設維持管理費	事業3	001	観光施設維持管理費

事業の概要

1 事業概要 [P]

- (1) 内容・目的・SDGsの該当目標
 - ・内 容 市内の観光地や観光施設等の適切な維持管理に努め、魅力ある観光地の創出を図る。
 - ・目 的 観光地の良好な維持管理に努め、快適な環境づくりを行う。
 - ・SDGs 11：住み続けられるまちづくりを
- (2) 効果・目標値
 - ・効 果 施設の適切な維持管理により、安全に利用できる。
 - ・目 標 値 観光地での事故件数ゼロ件
- (3) 根拠法令・計画等
 - ・根拠法令 該当なし
 - ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 30,103千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 33,093千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 36,070千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 36,070千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 観光地や観光施設等の適切な維持管理等
- ・令和6年度 観光地や観光施設等の適切な維持管理等

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

公衆トイレをはじめ、施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕及び建替の検討をする必要がある。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

観光施設等の適切な維持管理

6 要求額の増減理由・根拠 [A]

- (1) 増減理由
 - ・ 修景整備員 (会計年度任用職員) の給与等級上昇に伴う報酬等の増額

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	040	観光施設維持管理費	事業3	001	観光施設維持管理費

・人件費高騰等による委託料の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
適切な維持管理を図るとともに、計画的な修繕や建替を検討する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
 - ・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	001	観光協会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市観光振興施策のソフト事業（観光宣伝、観光企画事業、太鼓振興、観光関連団体補助、各種イベントへの後援等）の役割を担う、一般社団法人秦野市観光協会の団体運営経費・事業経費に対し補助するもの。
- ・目 的 民間団体の視点や柔軟な対応から、地域活性化や観光振興につながる事業の展開を図る。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市の魅力を発信し、市外・県外からの誘客を図り、地域経済の活性化に寄与する。
- ・目 標 値 観光入込客数 465.2万人以上（令和7年中間目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 33,239千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 36,856千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 36,548千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 36,548千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 本市の観光PRやシティープロモーション、観光パンフレットの作成を行った。
- ・令和6年度 新たな拠点を構えたことをきっかけに、オリジナルグッズ製作等を行うとともに、さらなる観光案内の充実を図るため、サービス向上に繋がる仕組みづくりを検討した。また、今後の観光振興を担う人材を採用するため、給与体系を整えるとともに、給与規程の見直しを行った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

表丹沢の玄関口として多くの観光客が訪れる秦野駅へ事務所等を移転したことをきっかけとして、新たな拠点での観光情報発信について検討することが出来た。
 今後は、利便性の高い立地を生かし、観光客の更なる満足度向上に向けたサービス展開を検討する必要がある。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	001	観光協会補助金

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 「小田急電鉄(株)」や隣接する「秦野名産センター」と相互に協力し合うなど、関係団体と連携した魅力発信に取り組む。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 人員配置や運営体制を見直したことにより減額となった。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 多くの観光客が訪れる秦野駅の利点を生かした事業を展開するとともに、オリジナルグッズの販売や新たなサービスを検討する等、自立に向けた収益の確保に努める。
- 8 その他
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 ・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
 ・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	002	丹沢遭難対策協議会補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 登山者の救助活動及び遭難防止対策等を行う丹沢遭難対策協議会の運営に対し、補助する。
- ・目 的 遭難防止及び救助活動を行い、登山者の安全を確保する。
- ・SDGs 17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市、警察、消防及び関係機関が連携した組織で活動することで、有事に際し迅速な捜索や救助活動を行うことができる。
- ・目 標 値 年間遭難事故件数 36件未満（目標値設定基準：令和5年実績値▲10%）
※令和5年遭難事故件数：40件

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 750千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 750千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 救助訓練の実施、山小屋に設置したAEDの維持管理、注意喚起看板等の設置、新規隊員の募集等
- ・令和6年度 救助訓練の実施、山小屋に設置したAEDの維持管理、注意喚起看板等の設置、新規隊員の募集等

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

登山に必要な装備や知識が不足している登山初心者の増加に伴い、遭難事故件数が増加傾向にある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

登山者カードの提出を呼びかける登山者カードキャンペーンや登山初心者向けの講座を実施し、事故防止の啓発を図るとともに、道迷いが発生している箇所へ注意喚起看板を設置するなど、事故発生防止に努める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	002	丹沢遭難対策協議会補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
増減なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和4年度 750千円
令和5年度 750千円
令和6年度 750千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
登山初心者が増加していることから、引き続き、啓発活動を積極的に実施する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	003	観光振興事業交付金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市の魅力を発信するため、観光振興事業を行う団体に対して交付金を交付する。
- ・目 的 市内団体により、魅力ある観光地を整備し、広報宣伝することで、観光振興を図る。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市内で観光振興に係る事業を行う団体の活動を支援し、訪れたいまち「秦野」を観光地として整備することで、誘客を図る。
- ・目 標 値 観光入込客数 465.2万人（第2期秦野市観光振興基本計画の中間目標値（R7））

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 380千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 380千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 380千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 380千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市内観光振興団体（3団体）へ交付金の交付
- ・令和6年度 市内観光振興団体（3団体）へ交付金の交付

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

各団体の事業費、活動の実績に応じた交付金額を交付する必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

各団体の事業費、活動の実績に応じた交付金額を交付する。必要に応じて、各団体へ活動状況等のヒアリングを行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- #### (1) 増減理由
- 増減なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	050	観光団体等補助金	事業3	003	観光振興事業交付金

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度 4件（申請・交付）

令和5年度 3件（申請・交付）

令和6年度 3件（申請・交付見込）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各団体の事業費、活動の実績に応じた交付金額を交付する。また、各団体へ活動状況等のヒアリング行うとともに、見直しについても検討していく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	060	花のある観光地づくり推進事業費	事業3	001	花のある観光地づくり推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 ハイキングコース沿いの遊休農地等に、花を背景とした美しい自然環境を創出する。
- ・目 的 美しい自然環境を創出することで、誘客を図るとともに、市民に安らぎの場を提供することを目的とする。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
11：住み続けられるまちづくりを
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 観光客の増加及びSNS等での情報発信による本市の知名度向上
- ・目 標 値 栽培面積35,000㎡（令和5年度実績値：28,769㎡）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）：2,001千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）：1,727千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,450千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）：1,450千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 ハイキングコース沿い等における遊休農地への花の栽培委託を行ったほか、事業効果の低い土地については委託業務を取りやめとし、費用対効果の精度を高めた。
- ・令和6年度 ハイキングコース沿い等における遊休農地への花の栽培委託を行ったほか、弘法山公園を新規事業地とした。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

多くのハイカーや観光客が訪れる箇所への栽培及び作柄状況の改善が必要

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

作柄状況の悪い栽培地において栽培する品種を変更し、作柄状況の改善に取り組む。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	060	花のある観光地づくり推進事業費	事業3	001	花のある観光地づくり推進事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

・栽培する品種を見直したことから原材料費が減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

事業効果の高い土地で実施できるよう更なる改善を図る。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	070	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費	事業3	001	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市営日帰り温泉入浴施設の運営
- ・目 的 観光及び地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 秦野市及び鶴巻温泉の知名度向上、観光消費の増加
- ・目 標 値 年間利用者数16万人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市鶴巻温泉弘法の里湯条例
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 131,503千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 151,292千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 191,120千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : _____ 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 新型コロナウイルスの分類変更を受け、入館者数の増加に向け、各種キャンペーンを再開してレジャー意欲の高揚を図ったほか、観光消費の増加に資するよう、地元商店会や飲食店等との連携を強化し、地域回遊性の向上を図った。指定管理者制度等の導入に係る検討を進めた。
- ・令和6年度 温泉情報サイトの活用や各種キャンペーンを通じ、知名度の向上やレジャー意欲の高揚を図るほか、観光消費の増加に資するよう、地元商店会や飲食店等と連携し、地域回遊性の向上を図る。安全、安心な施設提供となるよう、適切に機器等の点検や更新を行った。指定管理者制度等導入に係る検討を進めた。

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

令和5年度の新型コロナウイルスの分類変更や近隣日帰り温浴施設の閉鎖に伴い入館者数が大幅に増加しており、温浴施設のニーズは高い。令和7年度初頭に累計350万人を達成する見通しのため、記念品の贈呈や広報を行い、施設の認知度向上

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	070	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費	事業3	001	鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

を図る。
 施設設備の老朽化が顕在化している。点検で指摘を受けた個所を優先順位付けし、急な休館や利用者を巻き込んだ事故にならないよう、計画的に改修を行う。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・利用者の安全確保や施設の安定運営のため、夏季の1か月間休館し、点検で指摘を受けた浴室天井及び高圧引込設備を補修、更新する。合わせて、ゼロカーボンシティに資するよう、施設照明のLED化工事を行う。
- ・目標とする利用者数で施設収支の黒字化が確実にとなるよう、駐車場の管理体制や職員配置の見直しにより、経費の削減を図る。
- ・物価等の上昇傾向が続く中、施設、機器等の更新が滞りなく実施できるよう、施設収支改善の検討を進める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・利用者の安全確保、施設の安定運用のための工事費の増（1か月休館予定）
- ・会計年度任用職員給料表改定による人件費の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度営業予定日数312日 令和7年度営業予定日数284日

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・「秦野市公共施設保全計画」に基づき、老朽化した設備等の計画的な改修を進める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 30,081千円（3,281千円）
- ・ 内 容 照明設備更新工事（施設照明のLED化） 29,840千円
- 駐車場利用料へのキャッシュレス支払導入 241千円

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 効果額（うち一般財源） 3,134千円（3,134千円）
- ・ 内 容 第2駐車場に自動精算機を導入し、徴収担当職員の人件費を削減

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	080	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費	事業3	001	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 地域資源である温泉を活用し、鶴巻温泉地域の観光振興と地域活性化に取り組む。
- ・目 的 「つるまき千の湯」の適正な維持管理に取り組む。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 地域資源を活用した鶴巻温泉の観光振興とにぎわい創出を図る。
- ・目 標 値 鶴巻温泉観光客数 19万人以上
※ 令和5年実績値183,788人を超えるもの。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 39,600千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 8,891千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 6,236千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 6,236千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 大山～鶴巻温泉バス季節運行で誘客を図るとともに、地元が主体となったイベントを実施した。
また、地元温泉旅館に「つるまき千の湯」を配湯するため、配管敷設及び送湯設備を設置した。
- ・令和6年度 大山～鶴巻温泉バス季節運行で誘客を図るとともに、地元が主体となったイベントを実施し、地域資源を活用した事業を展開した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

鶴巻温泉地域のにぎわい創出の核となる「つるまき千の湯」については、適正な維持管理に取り組むとともに、更なる活用方法を検討する必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

源泉設備及び配管の適正な維持管理等を継続して行っていく。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	080	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費	事業3	001	鶴巻温泉駅周辺活性化事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

「大山～鶴巻温泉バス季節運行」を終了するため減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

鶴巻温泉観光客数 令和5年 183,788人
 令和4年 141,885人
 令和3年 122,218人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

鶴巻温泉地域の観光振興及びにぎわい創出を図るため、地域活性化の核となる「つるまき千の湯」について、適正な維持管理に取り組むとともに、更なる活用方法を検討する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	090	震生湖周辺整備事業費	事業3	001	震生湖周辺整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 震生湖を核とする水と緑にあふれた豊かな自然環境を保全し、良好な景観の向上を図りながら、里地里山に親しみあえる、観光拠点とする。
- ・目 的 湖畔から見る四季折々の風景や地質・歴史的な震災遺構としての魅力などを楽しんでいただくため、その環境維持に努める。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
11：住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 震生湖の豊かな自然環境を保全し、良好な景観の向上を図りながら、市民や観光客が心身ともに休憩でき、親しまれる憩いの場とする。
- ・目 標 値 震生湖観光客数 6.6万人（新型コロナウイルス拡大前の令和元年度値を目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 34,064千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 139,167千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,023千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 震生湖周辺の維持管理及び100周年記念事業の実施（太鼓橋架替工事詳細設計）
- ・令和6年度 震生湖周辺の維持管理及び太鼓橋架替工事の実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

震生湖の玄関口となる進入路に工事現場用フェンスが設置されており、景観を損ねている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

震生湖の玄関口となる進入路のフェンスを、豊かな自然に調和するフェンスに交換する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	090	震生湖周辺整備事業費	事業3	001	震生湖周辺整備事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

太鼓橋架替工事に係る費用を除いたため、減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

湖畔から見る四季折々の風景や地質・歴史的な震災遺構などの魅力を楽しんでいただくため、自然環境の保全及び良好な景観の創出を継続して進めていく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	100	名水はだの富士見の湯管理運営費	事業3	001	名水はだの富士見の湯管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 指定管理制度による市営日帰り温泉施設の運営
- ・目 的 観光及び地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上
- ・SDGs 3:すべての人に健康と福祉を
8:働きがいも経済成長も
11:住み続けられるまちづくりを
17:パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市民の健康増進及び弘法山とその周辺の観光振興、観光消費額の増加
- ・目 標 値 年間利用者数17万人（令和5年度実績値：15.7万人）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 名水はだの富士見の湯条例
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 2,035千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 3,566千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 15,375千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 施設の適正な管理運営、外部評価の実施、及び第3期指定管理期間の協定書の締結。
- ・令和6年度 男性用サウナの経年劣化による座面の張替修繕を実施。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・利用者からキャッシュレス化を求められている。
- ・混雑時に下足箱が不足し、入館待ちが発生している。
- ・脱衣所の冷水器が、紙コップ式であるため指定管理者の修繕費及び消耗品費を圧迫している。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

- ・キャッシュレス決済可能なレジ及び券売機を導入し、混雑緩和及び来館者の利便性向上を図る。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	100	名水はだの富士見の湯管理運営費	事業3	001	名水はだの富士見の湯管理運営費

- ・下足箱を追加設置し、入館待ちを緩和する。
- ・足踏み式の冷水器に買い替え、費用の削減を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・キャッシュレス対応セミセルフレジ及び券売機の導入、下足箱の設置、足踏み式冷水器への交換により、増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

サービスの品質向上及びコスト削減による利益率増を図るとともに、設備の故障等で利用者に影響が出ないよう、施設の保全について市と指定管理者で連携し、計画的に進めていく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・効果額（うち一般財源） 8,120千円（0千円）

- ・内容 指定管理者納付金及び秦野市還元金として指定管理者から利益の各1/4が支払われるもの。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	110	ヤビツ峠周辺観光振興事業費	事業3	001	ヤビツ峠周辺観光振興事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 ヤビツ峠レストハウスの維持管理等を実施する。
- ・目 的 ヤビツ峠レストハウスを中心に、地域の観光客数及び観光消費額の増加を目指す。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も
15：陸の豊かさを守ろう
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市の代表的な観光資源である表丹沢への観光客及び観光消費額の増加を図る。
- ・目 標 値 表丹沢観光客数 91.7万人以上（R5数値を目標）
1人あたりの観光消費額 1,273円以上（R5数値を目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画、表丹沢魅力づくり構想、ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 841千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 1,745千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 657千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 657千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容 [D]

- ・令和5年度 ヤビツ峠レストハウスの維持管理、各種広報宣伝、トレイルランニングイベントの実施等
- ・令和6年度 ヤビツ峠レストハウスの維持管理、各種広報宣伝、向山林道ハイキングコースの整備等

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

新たなハイキングコース（向山林道ハイキングコース）を整備するなど、更なる誘客を図る必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

更なる誘客を図るため、表丹沢野外活動センターと菜の花台展望台をつなぐ向山林道ハイキングコースを整備する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	110	ヤビツ峠周辺観光振興事業費	事業3	001	ヤビツ峠周辺観光振興事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

塩素注入器の修繕が完了したため、減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

観光客及び観光消費額の増加を図るため、施設運営者と協議し、来訪者のニーズに合ったサービスを提供する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	120	大倉高原周辺観光振興事業費	事業3	001	大倉高原周辺観光振興事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 大倉高原テントサイトの適正な維持管理及び広報宣伝等を実施する。
- ・目 的 表丹沢の登山道沿いにある唯一のテントサイトを活用し、更なる誘客を図る。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市の代表的な観光資源である表丹沢への観光客及び観光消費額の増加を図る。
- ・目 標 値 表丹沢観光客数 91.7万人以上（R5数値を目標）
1人あたりの観光消費額 1,273円以上（R5数値を目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画、表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）：1,501千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）：407千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：605千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）：605千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 施設の維持管理、テントイベントの実施
- ・令和6年度 施設の維持管理、チップ塔の設置等

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

施設の適正な維持管理や広報宣伝、ピークハントを旨さない登山ハイキングコースの設定等により、テントサイトの利用促進を図る必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・施設の適正な維持管理
- ・利用促進を図るための広報宣伝

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	120	大倉高原周辺観光振興事業費	事業3	001	大倉高原周辺観光振興事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・大倉高原テントサイト水場を年間で保守点検することとしたため、増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・施設の適正な維持管理
- ・利用促進を図るための広報宣伝

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	130	周遊観光促進事業費	事業3	001	周遊観光促進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 観光客の周遊性・滞在性を高めるため、秦野らしさを体験するための仕掛けづくりと仕組みづくりを行うことにより、周遊観光を促進し、地域経済の活性化を図る。
- ・目 的 観光客の周遊性・滞在性を高め、市内消費の拡大に結びつける。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効 果 本市の代表的な観光資源である表丹沢への観光客及び観光消費額の増加を図る。
- ・目 標 値 観光入込客数 465.2万人（第2期秦野市観光振興基本計画の中間目標値（R7））
1人あたりの観光消費額 1,324円（第2期秦野市観光振興基本計画の中間目標値で算出）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画、表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 1,074千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 1,060千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 2,469千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 周遊観光促進タクシーの広報宣伝、自転車を活用した周遊観光イベントの実施
- ・令和6年度 周遊観光促進タクシーの広報宣伝

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

民間事業者によるイベントの自走化により、市内の周遊を図ることができた。
一方、新東名高速道路の全面開通に向け、広域圏での周遊観光施策を企画・検討・実施することで、更なる誘客促進につながると考える。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

周遊観光促進タクシーの広報宣伝を引き続き実施し、観光客の誘致及び市内経済の活性化につなげる。また、

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	130	周遊観光促進事業費	事業3	001	周遊観光促進事業費

第2期秦野市観光振興基本計画の中間見直しを行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

第2期観光振興基本計画の中間見直しに係るアンケート調査を実施するため、増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

施策の評価・検証を行うとともに、秦野らしさを生かした体験を提案し、地域経済の活性化につなげる。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	140	弘法山公園周辺観光振興事業費	事業3	001	弘法山公園周辺観光振興事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 令和5年度に策定した「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、事業を展開するとともに、効果的な広報宣伝を行う。
- ・目 的 弘法山公園を多くの方に知っていただくほか、利便性及び魅力を高めることを目的とする。
- ・SDGs 8：働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効 果 弘法山公園への観光客数の増加を定量的な目標値とする。
- ・目 標 値 年間観光客数 55万人（令和5年実績50万人+5万人を目標）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画（はだの2030プラン）前期基本計画、第2期秦野市観光振興基本計画、秦野市弘法山公園利活用方針

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 6,421千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 13,640千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 14,517千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 秦野市弘法山公園利活用方針の策定、各種維持管理、弘法山マルシェの開催
- ・令和6年度 環境整備（デッキ整備、パードサンクチュアリ改修等）、キッチンカーによる実証実験、維持管理

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、取組を検討・実施する必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

キッチンカーによる実証実験結果に基づく出店環境の整備、眺望スポットの用地取得、パンフレット作製等に取り組む。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	140	弘法山公園周辺観光振興事業費	事業3	001	弘法山公園周辺観光振興事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

既存の魅力向上として「眺望スポットの用地取得」、新たな魅力創出として「電源の確保」、利便性向上として「パンフレット作製」に取り組むため、増額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

「秦野市弘法山公園利活用方針」に基づき、取組を検討・実施する

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・新しい地方経済・生活環境創生交付金（交付率1/2）

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	160	表丹沢野外活動センター管理運営費	事業3	001	表丹沢野外活動センター管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 令和5年4月から指定管理者による管理・運営を開始した「表丹沢野外活動センター」の施設運営を円滑に進める。
- ・目 的 表丹沢における山岳アクティビティの活性化を支える拠点施設として運営する。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 表丹沢における山岳・里山アクティビティの活性化を図るとともに、市内外からの交流人口増加を図る。
- ・目 標 値 表丹沢の様々な魅力を発信し、利用者の増加及び満足度の向上を図る。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市表丹沢野外活動センター条例
- ・計 画 表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 43,948千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 81,404千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 67,761千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 指定管理者による管理・運営開始。
- ・令和6年度 指定管理者による管理・運営。各種体験プログラムの実施。

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

- ・利用者の利便性向上のため、ニーズを捉えて運用の改善に取り組んだ。
- ・各種体験プログラムを充実させる等、利用者サービスの向上を図った。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

サービスの向上や自主事業の工夫等により、利用者数を増やせるよう指定管理者との調整を図る。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	160	表丹沢野外活動センター管理運営費	事業3	001	表丹沢野外活動センター管理運営費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
施設照明のLED化工事が完了したため、減額となった。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

適正な施設管理が行われるよう、指定管理者と連携を密にし、調整を図る。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
概要なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 3,465千円（0千円）
 - ・ 内 容 チップボイラーの購入により、環境に配慮した取組を実施する。
- (3) 自然災害対策への取組
 - ・ 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014060000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	170	観光事務費	事業3	001	観光事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 観光地入込調査や各種協議会への参加等、観光振興を図るための事務を行う。
- ・目 的 円滑な事務処理を行い、市内観光振興の活性化を図る。
- ・SDGs 11：住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 円滑な事務処理による各種観光施策の推進
- ・目 標 値 なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 第2期秦野市観光振興基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費(進捗率) : 3,722千円
- ・令和6年度予算 事業費(進捗率) : 4,580千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 5,342千円
- ・令和8年度以降 事業費(進捗率) : 5,342千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 観光地入込調査の実施、各種協議会への参加
- ・令和6年度 観光地入込調査の実施、各種協議会への参加

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

引き続き、観光振興の基礎数値となる観光地入込客数を把握する必要がある。

5 令和7年度 of 主な取組(課題解決への取組等)[A]

引き続き、観光地入込調査を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員の給与等級上昇により、増額となった。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140600000	観光振興課	会計	01	一般会計
款	06	商工費	項	01	商工費
目	04	観光費	事業1	061	01060104
事業2	170	観光事務費	事業3	001	観光事務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・入込調査を継続して行い、その結果を各種観光施策へ有効活用する。
- ・各種協議会へ参加し、観光施策へ活用できる情報収集等に努める。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
 - ・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・該当なし